

## 移動支援の実証実験の今後の対応

【今後の対応に向けた検討をする際に注意すべき点等】

- ① 「お出かけ支援通信」で、実証実験の再周知（8/1 号市報折込で全戸配布予定）
- ② 運輸局の許可を要する事項は、実証実験期間内に対応できない。
- ③ タクシー事業者の協力できる範囲内での検討とする。

運行内容 (地域の意向)	現状等	実験期間内 対応の可否	対応条件等
◆アンケート調査の「利用がさらに増える」「利用したいと思うようになる」運行内容			
①バス同様の 定時運行	・ 定時定路線の運行不可 ・ 現状、概ね 10 分程度で運行	できない	概ね 10 分程度で利用できる ことを周知することは可
②運賃が安く なる	・ 運賃の変更は、運輸局の許可 が必要	できない	運賃の変更はできないが、試 乗で実験に参加することは可
③乗車場所が 田無駅北口に なる	・ これまでの検討結果のとお り不可	できない	—
④乗車場所の 増加	・ 基本ルート上であれば、乗車 場所の増加は可	難しい	利用者が安全に待てる場所や 施設等所有者の承諾が必要で あり、対応に時間を要する。
⑤降車可能範 囲の増加	・ 基本ルート上であれば、降車 可能範囲の増加は可	難しい	降車時の安全と、安定した運 行間隔の確保等の考慮が必要 であり、対応に時間を要する。
⑥一度に乗車 できる人数の 増加	・ 現在のセダン型タクシー車 両（最大4名乗車可）の大型 化は車両確保の観点から不可	できない	—
⑦運行時間帯 の増加	・ 車両の提供可能時間が限ら れているため不可	できない	—
⑧車いすのま ま乗車できる	・ 提供できる車両が限られて いるため、不可	できない	—
⑨知らない人 と同乗しない	・ 今回の実証実験は、乗合運 行のため、不可	できない	—
◆利用者カード発行臨時窓口等で多く寄せられたご意見			
⑩小学生以下 世帯も対象に して欲しい。	・ 「小学生以下は無料だが、そ の世帯は実験の対象でないの で、対象にして欲しい。」との 意見がある。	できる	小学生以下の世帯を対象とす ることは可(ただし、お子様 との同乗を条件)